

令和6年1月21日(日)港北区駅伝大会が開催されました。
綱島地区連合チームは3連覇を成し遂げました。
古家駅伝監督よりご報告いただきます。

今年の港北駅伝大会において綱島連合町会チームは3チーム出場させていただきました。昨年に引き続き連合町会の部に参加するチームは減少傾向にある中、例年通り3チームの出場を認めていただき、そして大会終了後まで綱島地域全体で支えてくださり本当にありがとうございました。

おかげさまで今年もその期待に最高の形で応えることができました。Aチームがコロナ禍に伴う2回の中止を挟んで再開した昨年大会に続き3大会連続の優勝を飾った他、B・Cチームとも入賞を果たすという素晴らしい結果をおさめることができました。



中でもAチームは全9区間中、実に5区間において区間賞を獲得するなど選手個人の強さはもちろん、レース全体としても中盤に一度は逆転を許したものの、後半にかけてじわじわと差を詰めて最終区間で逆転するという見事なチーム力で栄冠を勝ち取りました。

さらには、女子小学生高学年・低学年のそれぞれの区間では、高学年女子ABCチームそれぞれの3名が区間1～3位を独占、低学年女子3名は区間賞を始め3名全員が5本の指に入る結果を残すなどその層の厚さと存在感は圧倒的でした。

また、今大会の高校生以上や20歳以上の区間においては、昨年度に続きかつて過去の港北駅伝大会において小学生時代にチームメンバーとして参加していた「卒業生」が多数参加してくれたことも長年チームをサポートしてきている構成員にはとても嬉しい出来事でした。小学生の選手たちが、この駅伝大会を「楽しい思い出」として記憶して、そして大人になったらまた綱島の代表として走りたい、そう思ってくれる場であることは、綱島地区全体が一体となってこの駅伝チームを応援していることの表れだと思います。更には、親子・きょうだいで大会参加も実に6家族(12選手)を数え、今年はその独特の雰囲気を持つ楽しさもあいまって特別感がありました。



毎年の会場である日産小机フィールド・新横浜公園の周回コースにおいてはどこを走っていても綱島への声援が途絶えることがなく、選手にとっては絶大な力となる「愛の鞭」をこれ以上ないほどに浴びながら楽しく、そして良い意味での緊張感を持って走る切ることができました。コースでの応援と共に、町会のテントにおいては出来たての温かいお汁粉、淹れたての熱い麦茶をご準備いただき、悪天候の中体を冷やさず済ませることができました。また本当に多くの方にお立ち寄りいただき、差し入れや激励のお言葉をいただきまして、選手を勇気付けていただきました。選手一人ひとりの感謝の想いを代表して篤く御礼申し上げます。

以下、区間賞受賞選手

- 櫻井 亮太(中央温泉)
- 山河 楓(中央温泉)
- 齋藤 日菜(中央温泉)
- 松南 奏妥(東町)
- 進藤 小春(上町)

